

令和7年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) りんでん認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	園の理念・保育目標の中心に「生きる力」を据え、様々な経験や学びが集大成として力となるよう願いながら保育に取り組んでいる。乳児クラスの保育では人間性の根っこを育てる重要な役割を担い、応答的な語りかけ、食事の援助、安心出来る環境での遊び等を通してその基盤を育もうと努めている。幼児クラスでは、ごっこ遊びや集団遊び等を通して子ども「やってみよう！」気持ちを尊重し「できたね！」と小さな達成感を積み重ねながら、保育者は失敗しても見守り、挑戦を応援する思いをより深めていきたい。
目標	子ども一人ひとりの未来への可能性を信じ、健やかな心と身体、知識と技能、豊かな感性、自立、社会性、礼節の育ちが「生きる力」となって成長していく。
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児クラスでは、担当制保育を取り入れ、子ども達は安心感の中で自ら動こうとする力の芽生えがみられる中で、好きな遊びや苦手な事等、一人ひとりの子ども理解を深めるため、職員間の情報共有を密にするよう心がけている。 ○ 幼児クラスでは、試行錯誤して遊びに取り組む姿勢をしっかりと認めるとともに、遊んだ後ミーティングで振り返り、友達との話し合いで考えを深め豊かな心を育むことに繋がっている。友達の気持ちに気付いたり、自分の思いを言葉で伝える力が伸びるよう働きかけている。 ○ 特別な配慮を要する子どもについても、職員連携を密に出来るように工夫を重ねている。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児クラスでは「りんでん認定こども園の担当制保育」を試行錯誤しながら見つけ出し、子どもたちも保育者たちも心身ともに豊かに過ごせるようになってきた。また保育者間でミーティングの時間をより多く設け、クラス運営や一人ひとりの発達や個性などをより深く共有できるようになった。 ○ 幼児クラスでは、子どもたちの何気ない一言や行動、興味を大切に保育を進めていくようになった。合わせて環境づくりや声掛けを工夫するとともに、子どもの姿をしっかりと認め次に繋げていくことや遊びが広がるように支えた。そうすることで子どもたちが自然と自主的に活動する姿が多く見られ、自信につながっていると感じる。
評価	本園の乳児クラスでは「担当制保育」を取り入れ、一人ひとりの子ども理解を深め、よりきめ細かな保育に取り組めるよう尽力している。また、幼児クラスでは子どもたちの遊びの中で生まれる様々な出来事の中で、子どもたち自身が自分で考えることや互いに意見を出し合えるよう配慮し、子どもたちの「自主性」や「主体性」の育ちを大切にしたい保育実践が行われている。また、乳児、幼児それぞれの発達に応じた子どもたちの支援を基本ベースに、機に応じた職員間のミーティングを重ねることを通して、情報共有と連携を大事にした保育実践に努めている。